

## 皮膚科学の進歩に寄与する研究報告書

### 理想のスキンケア製品：

合成界面活性剤不使用のリノール酸含有のエマルジョン化粧品

現在のスキンケア製品は、化粧水、乳液、クリームが基本とされ、乾燥や炎症、痒みなどの症状を軽減し、見た目の美しさを増進させることを目的としています。

しかし、スキンケア製品の本来の目的は、不快な症状が肌に出ないようにし、健やかで美しい素肌を保つことです。この観点から考えると、基本的なスキンケア製品は水分補給を目的とする合成界面活性剤不用の化粧水のみで十分であり、乳液やクリームは不要です。なぜなら、乳液やクリームの製造には合成界面活性剤が不可欠であり、これが皮膚のバリア機能を損なうからです。

合成界面活性剤は皮膚バリアに不可欠な皮脂や細胞間脂質を溶出し、肌の水分保持能力を低下させ、乾燥や炎症、痒みなどの不快な症状を引き起こします。一方で、タンパク質を溶出し、肌を柔らかく滑らかにし、古い角質を除去するなど、美容に欠かせない役割も果たしています。このため、すべての合成界面活性剤配合の製品が悪影響を及ぼすわけではないとする美容専門家の意見もあります。

しかし、スキンケア製品を健やかで美しい素肌を保つために使用するという観点から考えると、皮膚バリアにダメージを与える合成界面活性剤を含む乳液やクリームは不必要と言わざるを得ません。現実には、多くの乳液・クリームのスキンケア製品やスペシャルスキンケア製品が合成界面活性剤を使用しており、これらの製品を継続して使用すると乾燥や炎症、痒みなどの不快な症状が出現します。これからの時代は、これらの事実を知った上で、どのようにスキンケア製品を選び、使用するかが重要になります。

この研究報告書から、理想とするスキンケア製品は、油分と水分を同時に補給し、しかも油分の中にリノール酸が含有し、合成界面活性剤を使用しないものです。スキンケアは、このエマルジョン製品だけで成り立つと言い切れるのではないのでしょうか。